

### 市長有志も大沼氏推薦

参院選 12人連名、首長大半に

今夏の参院選山形選挙区(改選数1)を巡り、県市長会(会長・土田正剛東根市長)の有志は16日、自民現職の大沼瑞穂氏(40)の推薦を決めた。支援組織「県市長会有志の会」を発足させ、菅根光雄

尾花沢市長を除く12市長が名を連ね、山形市内で大沼氏に推薦状を手渡した。町村長でつくる県町村会(会長・高橋重美最上町長)も2月に大沼氏の推薦を決めており、県内首長の大半が大沼氏を支援



土田正剛東根市長(手前左)ら県内市長から推薦状を受け取る大沼瑞穂氏—山形市で

することになる。有志の会は大沼氏以外の候補を応援しないことなどが条件で、土田市長は「政策などの

実現には、政権与党を応援することが大切」と強調した。2017年10月の鶴岡市長選で自民と公明が推薦する

現職を破った皆川治市長は「大沼氏は(元厚生労働政務官として)政策にも通じているし、市のさまざまな場合にも真摯に対応してくれている」と話した。18年7月の尾花沢市長選で国民民主など野党各党の推薦を受けた菅根市長は毎日新聞の取材に「熟慮中。6月半ばごろまでに(候補支援の)考えを固めた」と語った。

【二村祐十朗】